

ヨムヨムだより 9月号



常盤小学校 図書館だより

夏休みには、どのような本と出会いましたか？ワクワクしながら一緒に冒険した本、疑問を調べて解決した本、新しい知識を得られた本。自分が読んでおもしろかった本を友だちにも紹介し、お互いに本の世界を広げてください。

あきをさがして

にぎやかだったセミの声に変わり、虫の声が心地よい季節になりました。中庭には多くのトンボが飛び始めています。「秋」を感じられる本を紹介します。



お月見テンテン 蜂飼 耳 作 講談社

近所のおばあさんから、お月見に誘われたさや。おばあさんの家に行ってみると、ウサギに似たテンテンという名の宇宙人を紹介され、一緒にお月見することに…。



もしきみが月だったら

サラス 文 光村教育出版

月が大好きな女の子が「月ってぽっかりうかんでいるだけではない」と月に話かけました。すると月は役割、特徴をやさしく教えてくれました。

きつねの窓 安房 直子 作 ポプラ社

道に迷った猟師が、青いききょうの花畑で見た白い子ぎつねを追いかけて行くと「そめもの ききょう屋」という小さな店にたどり着きました。



すいはんきのあきやすみ

村上 しいこ 作 PHP 研究所

運動会の朝、お弁当を作ろうとしたら、すいはんきのふたが開かなくなってしまった。困っているおかあちゃんに、すいはんきは「一緒に運動会に行きたい」としゃべり始めます。



鳴く虫の世界 小田 英智 文 あかね書房

虫たちの鳴くしくみは、左右の前羽の重なりあった部分にあります。左右の羽を震わせ、摩擦を起こします。自分の居場所を仲間に知らせる合図です。



月のかかく えびなみつる 文 旬報社

月はどうやってできたの？月の形が変わるのはなぜ？潮の満ち引きとなぜ関係があるの？など月に関する疑問を解決します。



==== あたらしいほん ====

がっこうにまにあわない

ザ・キャビンカンパニー 作 あかね書房

7時47分。ぼくは寝坊した。8時までには学校に着かなくちゃならない。ゆくてには大きな水たまりや、散歩中の犬。そして踏切。学校に間に合う？



せんたくかごのないしょのはなし

こがしわ かおり 作 あかね書房

サボンはせんたくかごをかかえて、ママのお手伝い。サボンの片方のくつ下が見つかりません。そこへつむじ風が吹いてきて、サボンはせんたくかごと飛ばされてしまいます。



ドルフィン・エクスプレス

たけした みみこ 作 偕成社

三日月島に住むテールは、海の宅配便「ドルフィン・エクスプレス」の配達員。ある日配達先のヒスイ島で、荷物の受け取りを拒否されてしまいます。



水まきジイサンと図書館の王女さま

丸山 正樹 作 偕成社

土しかない花壇に水をまくおじいさん。図書館で消えたしおり。不思議な出来事が次々起こる中、わけあって手話で会話する美和と英知が出会った耳の聞こえないおばあさんが謎を解く鍵に。



ささもり 笹森くんのスカート

こうべ はるま ちよ 講談社

ジェンダーフリーの制服が導入された学校で、笹森くんが夏休み明けからスカートで登校。クラスメイト四人の反応と笹森くんの考えは…。



ろっぴやくよんじゅうごねん 六四五年への過去わたり

まきの らや ちよ 著 くもん出版

蘇我氏が滅びると共に焼失したとされる書物を探し出し、持ち帰るようと命を受けた星読みの言祝と紗々。過去わたりをし、その書物を取り戻せるか…。



うちいさな宇宙の扉のまえで

いとうみく 作 童心社

六年生になった糸子たち。クラスメイトに転校生が加わり、糸子たちは悩み、うらみ、時にはぶつかりながらの一年間を過ごす。「糸子の体重計」の続編



のぶ谷が しろ なんて信長はお城をたてたの？

はた谷か えいじ ちよ 著 神泉社

ホタカは夏休みにお城を巡る旅行を計画。安土城の発掘調査を体験し、なんで信長は安土城を建てたのかという疑問がわいてきた。

